



「町民の目線に立った行政サービス」を心掛け職務に専念する住民生活課職員



豊間根信議員

## 行政改革

# 住民サービスの向上について

## 職員個々の意識改革一層図る

**質問** 昨年の6月議会にも同様の質問をしたが、1年を経過してどのような向上と実績があったか。今後どのようにサービス向上の取り組みをしていくか、もしクレームなどがあればその実例と対応を含め問う。

**沼崎町長** 随時、職員との懇談会を行うなど機会あるごとに行政サービスの向上に向けて職員の意識改革に努めてきた。「町民の目線に立った行政サービスを心掛ける」ことは徐々に浸透しつつあるものと理解している。限られた財政・人員の中で効率的な行政サービスを維持するために、職員個々の資質向上や意識改革を一層図っていく必要がある。クレームについては、町ホームページや手紙あるいは電話で、職員の対応な

## 町の考えを聞く

### 産業振興

## 町の活性化を図る計画は

### 産業活性化推進協議会立ち上げ検討

ど数件の意見をいただき、その都度職員から状況を聞き改善策を講じている。

**質問** 「ニア・イズ・ベター」

というカッコ書きをつけるような言葉を使う事が住民目線に立っていないのではないか。ホームページのクレームなどもすぐに削除せず真摯に受け止めてはどうか。

**福土総務課長** 住民の目線に立ち法令順守を心掛けるなど意識改革をし、職員個々が窓口であると認識し職務に励んでいく。

**質問** 先日ついに人口が2万人を切る、恐れていた現実面に直面した。今後、考えられる以上の加速度をもって人口減が進んでいくのではないかと危機感を持つ。少子化対策、高齢者対策、限界集落問題など、町の活性化のためどのような計画をもって対応していくのか。

**沼崎町長** 少子高齢化は、地域の活力低下を招くとともに、医療や保健、福祉分野への需要増大が懸念される。そのため、担い手育成や健康づくりを重視し、地域で支え合う福祉の充実を図っていく。地域活性化については、産業振興が重要であると考え、産業活性化推進協議会を立ち上げ活性化策を検討していく。

**質問** 前年より話しているが、形だけの住民協働ではなく真の協働を考えなければならぬのではないか。

**福土総務課長** まずは住民協働は必要である。われわれ職員ともに汗を流して協働を実践していく。